

✓ 2025年問題対応できていますか？

団塊の世代がすべて後期高齢者となる
外来の患者が在宅へ移行する流れが加速する転換点がすぐそこに迫っています。

✓ 介護保険：令和6年4月問題対応できていますか？

口腔衛生等管理が介護施設に義務化される転換点
口腔機能が高い高齢者は誤嚥性肺炎にかかりにくく、全身のフレイルも予防できるため、医療費が少ないことが証明されています。
その為、介護施設の入所者に対して口腔機能を保つための口腔衛生等管理が義務化されます。その内容を理解し介護施設に説明できて指導できる歯科医師が必要となります。

✓ 保険点数の変化に対応できていますか？

歯科医院経営は外来中心から、在宅へ転換せざるを得ない日が来ます。それは、日本の人口の多くを占める団塊の世代が高齢化し、外来に来られなくなるということが始まるからです。患者が外来から消えていく時代の始まりです。厚生労働省は歯科点数の配分を外来から訪問歯科診療へ移しています。今後もこの傾向は続きます。それは訪問歯科診療に対応できる歯科医師が少ないので点数を高くして、できる歯科医師を育てるためです。外来の再診料60点、在宅の再診料1731点

✓ 多職種連携できていますか？

口腔機能が落ちた高齢者の歯科治療は健常者の歯科治療は格段に困難になります。また、認知症の患者も増加しますので、認知症患者の歯科治療も学ぶ必要があります。また、患者との関係性も外来での患者⇄歯科医院の関係ではなく、患者・多職種⇄歯科医院との関係になります。

訪問歯科診療の全体像をつかむための講習会

Web 施設連携導入セミナー

※上記の問題点に、訪問歯科診療に精通した講師陣が詳細に解説をします。

講演日時	2024. 12.15 (日) 10:00~16:00
開催地	Web 開催
定員	40名 (開催1週間前または定員になり次第受付終了)
受講料	日本摂食支援協会 会員 …………… 16,500円 (税込)
(お弁当・お茶付)	日本摂食支援協会 会員 (再受講) …… 11,000円 (税込)
	一般 歯科医師 …………… 33,000円 (税込)
	※勤務医院が会員であれば会員価格で受講可
申込み	下記二次元コードまたは当会HPからお申込みください

主な講演内容

1. 実際に患者様はどこにいて、どのような状態なのか
2. 連携する介護施設の選定
3. 介護施設へのプレゼン
4. 協力歯科医院になった後に行うべきこと
5. WithYouを使用した介護施設への協力内容
6. どの様な治療があるのか
7. 義歯治療
8. 点数算定の具体的内容と収益性について
9. どの様にして老健と連携したか



介護施設と連携を行うことは訪問歯科診療の成功のためにはどうしても必要になります。

協力歯科医療機関としての契約までの道のりと連携後に果たすべき役割について重要なのは、

- 8回目までをどう『安全に』『確実に』登るか！
- 8回目から頂上(経口移行)へは時間をかけてじっくり学ぶ！

